

特定非営利活動(NPO)法人

## 仙台敬老奉仕会

<http://sendaikeirou.web.fc2.com>

### 当会理事長吉永馨が 郡仙台市長を表敬訪問

◇年月日：平成29年12月20日(水)

◇場所：仙台市特別応接室

当会の吉永理事長が、郡和子仙台市長を表敬訪問し、仙台市が介護先進都市のモデルになるようにと呼びかけました。

そのためには、市民と一体になって介護ボランティアを推進していく必要があります。



郡和子仙台市長と吉永馨当会理事長

### 第58回研修会 ご報告

◇開催日：平成30年1月19日(金)午後3時

◇場所：仙台市福祉プラザ 第1研修室

◇講師：吉永 馨(当会理事長)

◇演題：25年問題を乗り切ろう

#### 【要旨】

2025年、団塊の世代が75歳の後期高齢者になります。今でさえ人手不足、施設不足で介護難民が多いのに、2025年になると事態は更に悪化し、介護体制崩壊の危機が生じます。

これを乗り切るには、欧米のような寄り添いボランティアの育成が必須です。国会は介護体制強化を法制化しましたが、各自治体も介護施設も一般市民

も危機感が希薄で、有効な対策を立てていません。官民を挙げて真剣に取り組まねばなりません。

その方策は欧米型寄り添いボランティアしかありません。



会場風景

使用したスライドを紹介します。

### 25年問題とは

1. 2025年(平成37年)団塊の世代が75歳を超え後期高齢者となる。この世代は1000万人いる
2. すると当然、介護を必要とする人が激増する
3. 現在でも、要介護者は600万、介護度3~5の重症者185万、入所待ち52万いる。施設が足りず、施設は人手不足
4. このままでは介護保険は崩壊する。これにどう対応するか?

9

### 結論

1. 25年問題を乗り切るために、官民を挙げて必死に取り組まねばならない。
2. それが成功しないと、介護体制が破綻し、介護地獄が出現する。
3. これを乗り切るには、欧米型のボランティアを育成、活用する以外に方法がない。
4. 介護制度崩壊について、その危機感を共有し、国を挙げて取り組まねば、憲法25条が空文化する。